Ryokusenkai

Nurse Guide Book

法人看護局

看護局理念

高い志と技能を持ってあなたの思いに応えます

法人基本理念

まわりの人たちの幸せな笑顔が、私たち職員の喜びです。

クレド《信条》

社会医療法人緑泉会は、チームアプローチを基に医療・介護の専門性を真から追求し、
最高の医療技術と感動サービスを提供する事を最も大切な使命と心得ています。
私たちは安全で安心できる良質な医療・介護を提供し、患者様やご家族の皆様に心からご満足いただけるように、
持てる全ての力を最大限に発揮し、信頼関係を築きます。
私たちは、お一人おひとりの患者様の人権を尊重すると共に、常に感謝の心を持ちホスピタリティの心を高め、
豊かな感性で温かい癒しの空間を提供する事により、地域の皆様の幸せな笑顔をいただくことを最大の喜びとします。

緑泉会の歩み

～私たちが積み重ねてきたのは患者様の幸せな笑顔～

1969



1969年12月
「米盛整形外科医院」開院

1998



1998年5月
「まろにえ介護
老人保健施設」開設

1998年6月
「まろにえリハビリテーション
クリニック」開院

1999



1999年4月
「マロニエ訪問看護
ステーション『護国』」開設

1999年10月
「指定居宅介護支援
事業所」開設

2005



2005年5月
「まろにえリハビリテーション
クリニック」移転・開院

2009

2009年4月
社会医療法人
認定

2012



2012年7月
ドクターカー運用開始

2014



2014年9月
「米盛病院」移転・開院



2014年10月
「鹿児島県ドクターヘリ
補完ヘリの救急患者搬送に
関する協定」締結

2015

2015年8月
「まろにえ
リハビリテーション
クリニック」を
「整形外科 米盛草牟田
クリニック」と名称変更

2017

2017年1月
「ジャパンインターナショナル
ホスピタルズ」選定



2017年3月
DMATカー運用開始

2018



2018年6月
「米盛病院」
西棟完成（506床）

RYokusenkai Nurse C

多様な職場環境

社会医療法人緑泉会は、整形外科・救急科を中心とした米盛病院を基幹病院として、
クリニック・介護老人保健施設・訪問看護・居宅介護支援事業所等の連携により、
診療・手術・回復までの治療、そして退院後の長期にわたるシームレスな看護を提供しています。
これからの看護師としての人生のなかで、求める看護師像の変化、
ライフスタイルの変化が起こりますが、その状況に応じて法人内の施設で勤務ができます。
多様な職場環境のなかで看護師のスキルを高めていけることも、社会医療法人緑泉会の魅力です。



看護局長
菊地 雅文

介護・支援

まろにえ介護老人保健施設

〒890-0014 鹿児島市草牟田二丁目26番45号



在宅支援

米盛病院 居宅介護支援事業所

〒890-0014 鹿児島市草牟田二丁目29番32号



マロニエ訪問看護ステーション「護国」

〒890-0014 鹿児島市草牟田二丁目29番32号



救急・急性期・回復期

米盛病院

〒890-0062 鹿児島市与次郎一丁目7番1号



クリニック

整形外科 米盛草牟田クリニック

〒890-0014 鹿児島市草牟田二丁目27番10号



福利厚生

▼ 職員用マンション





オートロック付きのため女性も安心です。
※職員用マンションは室数に限りがございます。

▼ 保育施設





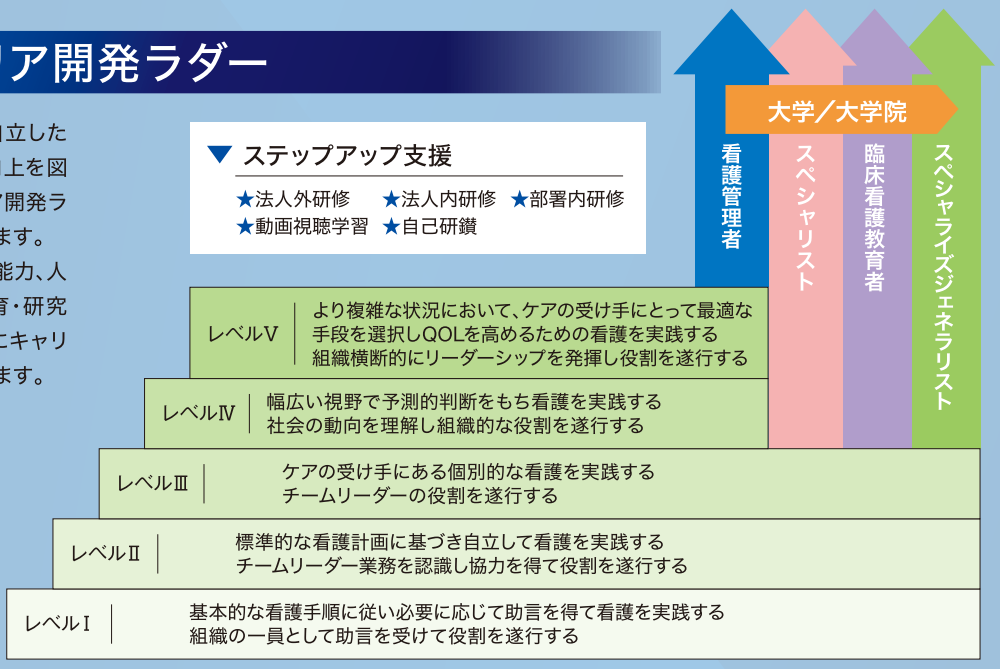
小学校就学前のお子様をお預かりしています。
※24時間保育を導入しています。

看護局教育理念

1. 知識・技術・感性を磨き、組織の一員として誇りをもって行動できる職員を育成します。
2. 社会の変化や医療の進歩に応じた、適切かつ質の高いケアができる職員を育成します。

キャリア開発ラダー

社会医療法人緑泉会では自立した看護師の育成と看護の質向上を図ることを目的として、キャリア開発ラダーシステムを取り入れています。
看護実践能力、マネジメント能力、人間関係・役割遂行能力、教育・研究能力の4つの能力を段階的にキャリアアップできるようにしています。



米盛ラーニングセンター

体で覚えた経験は強い。

実際に現場で発揮できる力。それが実力です。
座学だけでは行き届かない、リアルな体験型の学習ができる。
それが、米盛ラーニングセンター。
病棟を忠実に再現したシミュレーションルームや
一人ひとりにカスタマイズされたプログラムなど、
あなたのやる気に応える環境がここにはあります。





研修プログラム　法人で定期開催している学習プログラム。

BLS (Basic Life Support)

心肺停止時の蘇生法であり、特殊な器具や医薬品を用いずに行う救命処置。胸骨圧迫と人工呼吸からなる心肺蘇生法、AEDの使用を学習します。
※インストラクターになるためのプログラムも用意しています。

ICLS (Immediate Cardiac Life Support)

「突然の心停止に対する最初の10分間の対応と適切なチーム蘇生」の習得を目標としています。講義室での講義はほとんど行わず、実技実習が中心です。
※インストラクターになるためのプログラムも用意しています。

ACLS (Advanced Cardiovascular Life Support)

気管挿管、薬剤投与の高度な心肺蘇生法を行いますが、心停止時のみならず重症不整脈、急性冠症候群、急性虚血性脳卒中の初期治療までを学習します。
※インストラクターになるためのプログラムも用意しています。

学習支援の仕組み　あなたのがんばりに合わせた学習支援。

研究・学会発表支援
専門職として知識を深め、技術の向上を図るため、毎年多彩な研究に各部署取り組んでいます。
また、専門学会に積極的に参加しています。

ニーズに応じたトレーニング
急変対応や清潔操作等、その人のニーズに応じたトレーニングを
IDを基に組み立て実践していきます。

「ID = Instructional Design」とは!?

「ID = Instructional Design」とは、効果と効率、そして魅力を高める研修を設計すること。米盛ラーニングセンターには、学びたい人をどう支えるかをプランする、インストラクショナルデザイナーの資格を持ったスタッフがいるんです！

